

## 相談・交流部門目次

- 1 相談・交流の基本的な考え方
- 2 相談業務
  - 1) 相談・交流部門の人員体制
  - 2) 相談の場所と時間帯
  - 3) 相談状況
    - ① 身分別相談状況
    - ② 内容別相談状況
      - i 研究・学習
      - ii 就職・アルバイト
      - iii 奨学金・授業料
      - iv 生活一般
      - v 入学・進学
      - vi 交流活動
      - vii ビザ・在留
      - viii 事件・事故
      - ix その他
  - 4) 相談業務における課題
  - 5) 就職支援
    - ① 支援の考え方
    - ② 就職実績
    - ③ 就職希望者リスト送付と留学生向け個別会社説明会
    - ④ 福井大学留学生就職支援プログラムの実施
    - ⑤ 就職内定者アンケート
    - ⑥ 福井大学留学生同窓会との連携による母国企業への就職活動
    - ⑦ 就職支援室との連携
    - ⑧ 就職支援における課題
  - 6) 日本人学生の海外留学支援
    - ① 人員体制
    - ② 相談状況
    - ③ 情報提供
      - i 学外からの海外留学案内ポスターの掲示及び海外留学案内パンフレット等の配布
      - ii 海外留学説明会等の実施

- ④ 海外留学状況
    - i 交換留学による海外留学者数
    - ii 協定校が開催する短期研修プログラムへの派遣
  - ⑤ 日本人学生の海外留学支援における課題
- 3 学内交流活動
- 1) 定期交流活動
    - ① 国際交流ラウンジ
    - ② ビデオショウ
  - 2) その他学内活動
  - 3) 福井大学留学生会
    - ① 設立背景と事務局構成
    - ② 福井大学留学生会の活動
  - 4) 学内交流活動の課題
- 4 地域社会との相互支援交流活動
- 1) 小学校等への一日講師派遣
  - 2) 福井県等官界とのネットワークと交流活動
  - 3) 商工会議所等産業界とのネットワークと交流活動
  - 4) 地域国際交流ネットワーク構築及びネットワーク誌「こころねっと」
  - 5) 福井大学留学生同窓会活動
    - ① 福井大学留学生同窓会設立の背景
    - ② 福井大学留学生同窓会設立
    - ③ 支部設立の動き
    - ④ 同窓会の活動
    - ⑤ スプリングプログラム in 上海
    - ⑥ 浙江理工大学サマープログラム
    - ⑦ 日本学生支援機構主催「留学生交流実務担当教職員養成プログラム」で講演
  - 6) 福井県留学生交流推進協議会
  - 7) 課題
- 5 外部への情報発信活動
- 1) 主な発信媒体
  - 2) ネットワーク構築を支える情報登録・管理

## 相談・交流部門

### 1 相談・交流の基本的な考え方

留学生支援、特に相談業務の考え方についての基本的な視点は次の通りである。

- 1) 各種の学内活動及び地域交流活動を通して、留学生と留学生、留学生と日本人学生、留学生と地域市民、留学生と産業界、等々のネットワークを構築し、そのネットワークを通して、学生を支援する。
- 2) 問題が発生してから対応する問題解決型の相談から、問題発生を未然に予防する、更には、自己研鑽・社会活動展開のための相談へと、その重点の移行を目指す。
- 3) 精神的な落ち込み等のケアにおいても、多くの場合、その背後にある、より具体的な問題解決なしには対処できないことに留意する。
- 4) 発生した問題解決においては、学内外の諸機関・専門家と連携して解決する。

### 2 相談業務

#### 1) 相談・交流部門の人員体制

福井大学留学生センターでは相談交流部門に中島教員1名が配置されている。他方、学生サービス課には課長以下職員が6名、事務補佐員が2名いる。学生サービス課には主に事務手続き関係の質問が行き、相談・交流担当教員の方には、より複雑な問題について、腰を据えてゆっくり相談したい場合にやってくる。それぞれの相談に費やす時間は1回30分から1時間程度である。

#### 2) 相談の場所と時間帯

いわゆる相談専用室はなく担当教員の研究室で相談を受ける。研究室には5人用のソファースーツがあり、寛いだ雰囲気を提供できる環境にある。相談時間帯は留学生センターホームページ (<http://ryugaku.isc.u-fukui.ac.jp/>) に掲載されている。また、研究室入口ドアには「いつでもどうぞお入りください。不在の場合のメモは上の籠はいにいでてください」との掲示があり、籠が用意されている。また、研究室のドアは常時開放されている。つまり、下記時間帯以外でも、授業中でない限り相談を受ける。

表1 相談の時間帯

曜日	午前	午後
月		14:00 ~ 17:00
水	9:00 ~ 12:00	
木	9:00 ~ 12:00	
金	9:00 ~ 12:00	

### 3) 相談状況

相談・交流担当教員の本学着任日（平成12年8月1日）以降の全相談データを記録し、身分別、内容別に分類してあるので、いつでも統計資料が作成できる状態になっている。

#### ① 身分別相談状況

平成23年度における身分別相談状況は表2の通りである。

以下相談件数はすべて、相談・交流担当教員の研究室来訪による相談のみである。e-mailによる相談、学生サービス課における相談等は含まれていない。

表2 平成23年度身分別相談状況

(相談件数)

	医学部・医学系 研究科		教育地域科学部 ・教育学研究科		工学部・工学研 究科		小計		合計	割合
	男	女	男	女	男	女	男	女		
院生	0	0	1	4	50	14	51	18	69	53.1%
学部学生	0	0	0	0	22	14	22	14	36	27.7%
研究生	0	0	0	5	4	2	4	7	11	8.5%
特別聴講生	0	0	4	5	3	2	7	7	14	10.8%
小計	0	0	5	14	79	32	84	46	130	
合計	0		19		111		130			
割合	0.0%		14.6%		85.4%					

・研究生には、特別研究学生を含む。 ・特別聴講学生には、科目等履修生を含む。

一方、平成23年10月1日現在の身分別在学留学生数は表3の通りである。

表3 平成23年10月1日現在の身分別在学留学生数 (人数)

	医学部・医学系 研究科		教育地域科学部 ・教育学研究科		工学部・工学研 究科		小計		合計	割合
	男	女	男	女	男	女	男	女		
院生	5	1	2	7	57	28	64	36	100	45.7%
学部学生	0	0	0	2	50	13	50	15	65	29.7%
研究生	0	0	2	9	5	5	7	14	21	9.6%
特別聴講生	0	0	3	15	11	4	14	19	33	15.1%
小計	5	1	7	33	123	50	135	84	219	
合計	6		40		173		219			
割合	2.7%		18.3%		79.1%					

さて、表2及び表3からわかるように、在学留学生の身分別の割合が、概ねそのまま、身分別相談件数の分布割合と符合している。

ただ、一般に、大学院生の場合は、母国で学部教育を受けた後来日し、半年とか1年の研究生生活を経て、院生になる学生が多いため、日本滞在期間が短く、日本語力も低い。適応力がついていないことから、相談に来訪することが多い。更に、修了者の大半が日本国内就職を目指すこと、研究の壁にぶつかることが多いこと、それらも相談件数の増加要因となっている。

他方、学部生は日本語学校を経て日本語力を身につけ日本語による留学生試験を突破し、授業もすべて日本語で受講するなど、日本語力もある上に、日本滞在経験も長く問題解決力もあるので、相談件数は少ない傾向にある。

また、大学院生や研究生の場合は、研究室に所属しているので、指導教員や研究室仲間との緊密な人間関係が構築できるが、そのような環境にない特別聴講学生は周りに相談する相手が少なく、孤立することがある。

尚、医学部・医学研究科の場合、留学生数自体が少ないこと、それに両キャンパスが地理的に離れていることから相談はほとんどない。全員が大学院生又は研究生で、研究室に所属し、指導教員や研究室の仲間の支援を受けていると思われる。尚、学内交流活動や地域交流活動には医学研究科の留学生も積極的に参加している。相談・交流担当教員から交流関係情報が常時メールで配信されているからである。

## ② 内容別相談状況

平成23年度における内容別相談状況は表4の通りである。

表4 平成23年度内容別相談状況

(相談件数)

	医学部・医学系 研究科		教育地域科学部 ・教育学研究科		工学部・工学研 究科		小計		合計	割合
	男	女	男	女	男	女	男	女		
研究・学習	0	0	1	2	17	3	18	5	23	17.7%
就職・アルバイト	0	0	2	5	19	11	21	16	37	28.5%
奨学金・授業料	0	0	0	0	5	1	5	1	6	4.6%
生活一般	0	0	0	3	7	3	7	6	13	10.0%
入学・進学	0	0	0	0	10	6	10	6	16	12.3%
交流活動	0	0	2	3	15	0	17	3	20	15.4%
ビザ・在留	0	0	0	1	5	8	5	9	14	10.8%
事件・事故	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0.8%
小計	0	0	5	14	79	32	84	46	130	
合計	0		19		111		130			
割合	0.0%		14.6%		85.4%					

平成15年度～平成23年度における内容別相談状況は下記表5の通りである。

表5 平成15～23年度の相談内容別相談状況

(相談件数)

	医学部・医学系 研究科		教育地域科学部 ・教育学研究科		工学部・工学研 究科		小計		合計	割合
	男	女	男	女	男	女	男	女		
研究・学習	1	0	25	44	175	90	201	134	335	18.8%
就職・アルバイト	0	0	39	85	211	100	250	188	438	24.6%
奨学金・授業料	0	0	0	12	46	27	46	39	85	4.8%
生活一般	0	0	13	18	77	54	90	72	162	9.1%
入学・進学	0	2	14	49	150	102	164	153	317	17.8%
交流活動	0	0	23	48	157	57	180	105	285	16.0%
ビザ・在留	0	0	2	10	32	18	34	28	62	3.5%
事件・事故	0	0	1	6	60	33	61	39	100	5.6%

	医学部・医学系 研究科		教育地域科学部 ・教育学研究科		工学部・工学研 究科		小計		合計	割合
	男	女	男	女	男	女	男	女		
小計	1	2	117	275	908	481	1,026	758	1,784	
合計	3		392		1,389		1,784			
割合	0.2%		22.0%		77.9%					

表4及び表5から見ると、平成23年度の内容別相談件数は従来の内容別相談件数の割合とほぼ重なっているが、平成23年度の場合、「入学・進学」相談が少なくなり、「ビザ・在留」相談が増えている。

#### i 研究・学習

研究学習に関する相談は例年多いが、院生からの相談がほとんどである。研究室内の人間関係、研究テーマそのもの、学位論文執筆の壁、などがある。特に、博士論文の場合にはかなりの学生がノイローゼ気味になる。査読の結果が届かない、今のテーマでは論文が書けない、などである。研究テーマや指導教員を変更したいということで、関係者と協議の上、結局研究室を変更するケースもある。

近年目立っているのが、博士の学位が取れずに、失意のまま帰国するケースが増えていることである。今年は修士の学生の例もあった。学ぶ側だけでなく、指導する教員の方に問題点があると思われるケースもある。本国政府の奨学金を受給している場合は、大使館等とも連絡調整しながら、本人の将来設計への影響を最小限にすべく対応している。

本年度においては学部生が単位不足のために進級できないという相談が2件あった。取得必要単位数への誤解が原因のものや、就職への不安から真剣に学習に取り組めないというものもあった。後者の場合、県内企業への就職が内定すると、別人の如く学習に取り組み始めた。

#### ii 就職・アルバイト

本学留学生の近年の国内就職者数は、2007年度30名、2008年度20名、2009年度15名、2010年度21名、2011年度20名となっている。健闘しているとは言え、就職環境は年々厳しくなっている。エントリーシートに登録しても、なかなか面接まで行けない。面接まで行っても落ちてしまう。連戦連敗の就職戦線に行き詰まり、自信を喪失する学生も多い。そのような学生に対して、心のサポートをすることが増えた。

一方、どんなに心のサポートをしても、就職が決まらな問題とは解決しないので、留学生センターラウンジにおける個別企業会社説明会を実施したり、希望分野の会社を

インターネットで一緒に検索したり、商工会議所等で講演したりして、側面から支援している。

就職に関する相談が例年相談件数のトップであるが、商工会議所、福井労働局、福井入国管理事務所との連携、特に産業界とのネットワークを通して支援している。

### iii 奨学金・授業料

奨学金・授業料の相談件数が少ないのは、まず奨学金案件そのものが少ないこと、また、授業料免除は学生サービス課が窓口であるためと思われる。ここ数年目立ってきたのが、授業料が払えずに除籍処分になって大学を去る学生が増えていることである。アルバイトもしないでんびり過ごして、納入期限の土壇場で相談に来るなど、資金計画、生活設計の習慣が身につけていないことがその主な原因であった。成績も芳しくなく、授業料免除もなく、バイトもせず、という学生への対応に苦慮している。

### iv 生活一般

生活一般に関する相談は少ないが、健康問題、アパート隣人とのトラブル、異国での生活による情緒不安、結婚直後に妻を残しての来日、子供を母国に残しての来日、また、逆に、日本語が出来ない妻を同伴したことによる問題、乳幼児を同伴しての単身留学来日等々、その問題発生要因は他方面にわたる。

住宅賃貸契約における保証人問題は外国人留学生支援会発足により機関保証制度が整ったため、皆無であった。

### v 入学・進学

入学進学に関する相談は学内進学、学外進学、更には第三国への進学相談があり、特に最近では第三国への進学相談が増えている。相談内容は、指導教員の探し方、研究計画作成の指導、推薦状作成依頼がほとんどである。

### vi 交流活動

学生の地域理解や親日感は、パーティ等に招待されることからではなく、地域の国際化への積極的貢献から生まれるとの認識から、小中学校や県内機関に留学生を講師として積極的に派遣している。相談内容としては、小学校等での発表方法や、準備内容等に関するものが相変わらず多いが、その他に、引き受けたいが、指導教員が厳しくて許可がもらえそうにないというものもある。指導教員が交流活動と研究活動のバランスに苦慮している面が見られる。

### vii ビザ・在留

各種ビザの取得・更新手続き等に関しては学生サービス課留学生係が中心に処理して、



その段階で解決されているため、従来より相談件数はすくない。相談担当教員への相談案件は、家族や友人のビザ取得に関しての相談が中心であるが、今年は友人のビザ取得に関する相談が多かった。

#### viii 事件・事故

事件事故に関する相談は全般に少ないが、その大半は交通事故案件である。被害者としてだけでなく、加害者の場合もあり、対応が難しい。今年は母国免許から日本免許への切り替えがないまま自動車を運転して事故を起こした学生がいた。しかも、任意保険に入ってなかったが、警察の理解と、同国人学生たちの経済的なバックアップで乗り切った。

いずれの場合も、学生サービス課職員、指導教員、保険会社、警察などと緊密な連携をとりながら対処している。

#### ix その他

海外から直接メールが入り、修士課程、博士課程への入学等に関する問い合わせや相談を受けることが多い。主に工学部・工学研究科に関するもので、指導教員を紹介してほしいというものである。その場合には、当該専攻の留学生委員会委員に情報を転送し、専攻内全教員に受入意思を確認するように依頼している。毎年このような形で2、3名が本学研究科に入学している。

また、県内関係機関等から48件の来訪があり、交流活動、就職等について相談を受けた。

### 4) 相談業務における課題

- ① 学生を支援するためには、幾重もの人的ネットワーク作りを更に推進すること必要がある。
- ② 留学生センターの施設が分散し、且つ、日本語教育の教室から離れた場所に、相談担当教員の研究室があるため、留学生が相談に来てても不在なことがある。相談業務を含め、センター業務全体が有機的な機能を果たすためには、センター施設の集中化が望まれる。
- ③ 相談・交流部門は人員一人で多岐にわたる事業を担当し、且つ、授業も担当しているため、時間的及び精神的余裕に欠け、学生が相談に来にくい状況があるかと懸念している。

### 5) 就職支援

#### ① 支援の考え方

社会・経済のグローバル化が進む中で、地域経済界が生き延びる、更に発展するためには、各企業の国際化は喫緊の課題である。そして、その柱となるのが、国際戦略を担う人材確保である。他方、留学生も卒業後、実務経験を身につけたい、更には、人生設計を日

本の産業界に求めたいという学生が増えている。留学生センターは双方のニーズを調整しながら、留学生支援および経済界特に県内企業の国際化支援を行っている。

表6 就職支援の流れ（平成23年度の例）

5月中旬	留学生向け就職説明会実施
	<p>内容 : 過去の就職実績・平成22年度の内定状況について</p> <p>: これからの就職活動と相談について（就職の心構え、就職ナビ登録、履歴書作成法、自己PR書の書き方、内定後の注意事項等）</p> <p>: 各種資料配布</p> <p>「就職活動の手引き2012年」福井大学作成</p> <p>「外国人留学生のための就職活動ガイドブック」ランスタッド作成</p> <p>: 就職が内定している先輩の就職活動体験談</p> <p>: 就職希望者リスト登録</p>
6月	福井大学就職希望留学生一覧を県内企業140余社に送付
随時	求人票、会社説明会等をe-mailで配信。及び個別に就職相談を受ける。
随時	留学生センターラウンジにおいて、県内企業及び中部・近畿圏の個別企業採用説明会を実施。
内定決定	中島研究室に内定決定を連絡後、在留資格変更手続き等の相談を受ける。

② 就職実績

平成23年度の留学生の国内就職実績は下記表7の通り20名（県内11名）であった。

表7 平成23年度留学生国内就職実績

	企業名	所属	国籍	企業所在地
1	井上リボン工業(株)	工学部生物応用化学科	ベトナム	福井県越前市
2	ジャトコ(株)	工学研究科機械工学専攻	中国	静岡県
3	日産自動車(株)	工学研究科電気電子工学専攻	中国	東京都
4	日産自動車(株)	工学研究科機械工学専攻	中国	東京都
5	日産自動車(株)	工学研究科ハイパーメディア工学専攻	中国	東京都
6	日本電気硝子(株)	工学研究科機械工学専攻	マレーシア	滋賀県
7	パナソニック エレクトロニック デバイス(株)	工学研究科物質工学専攻 分子工学	中国	福井県敦賀市

	企業名	所属	国籍	企業所在地
8	パナソニック エレクトロニック デバイス(株)	工学研究科情報メディア工学専攻	インドネシア	大阪府
9	三谷コンピュータ(株)	教育地域科学部交換留学生	中国	福井県福井市
10	メガネバンク(株)	教育学研究科教科教育専攻	中国	福井県福井市
11	(株) ゴーショー	工学研究科材料開発工学専攻	中国	滋賀県
12	(株)アートテクノロジー	工学部生物応用化学科	ベトナム	福井県鯖江市
13	(株)エイチアンドエフ	工学研究科機械工学専攻	中国	福井県あわら市
14	(株)ジャストコーポレーション	工学部電気電子工学科	中国	福井県福井市
15	(株)松浦機械製作所	工学研究科機械工学専攻	中国	福井県福井市
16	(株)天晴データネット	工学部建築建設工学科	ラオス	福井県福井市
17	(株)天晴データネット	工学部建築建設工学科	中国	福井県福井市
18	(株)福井計器製作所	教育学研究科教科教育専攻	中国	福井県鯖江市
19	日立造船(株)	工学研究科機械工学専攻	中国	大阪府
20	日立造船(株)	工学研究科機械工学専攻	中国	大阪府

### ③ 就職希望者リスト送付と留学生向け個別会社説明会

毎年就職希望者リストを県内140余社に送付して就職先開拓をしているが、県内外の企業から求人関係の問い合わせがあれば、可能な限り来訪いただき、本学留学生センターラウンジに留学生を集め、個別会社説明会をお願いしている。平成23年度は9社の説明会を実施した。その成果が県内企業就職者11名の成果となっている。

### ④ 福井大学留学生就職支援プログラムの実施

平成21年度より継続実施しているが、平成23年度も社団法人中部産業連盟と連携して下記のとおり実施した。

プログラム名：福井大学留学生就職支援プログラム

期間：平成23年9月9日～平成24年2月24日全19回

日時：毎週金曜日13：30～15：30

会場：福井大学留学生センターラウンジ

参加者数：19名（学部3年生3名、修士1年生13名、博士2年生3名）

内容：キャリアデザイン、ビジネス日本語、面接対策講座、社会人基礎力等

### ⑤ 就職内定者アンケート実施

中期計画に基づき、企業研究、会社説明会、エントリーシート、筆記試験、面接等、就職活動全般について内定獲得までのプロセスに関する詳細なアンケートを実施し、留学生センターラウンジコンピュータ6台で見られるようにした。今年度は内定者15名分を掲載

した。

#### ⑥ 福井大学留学生同窓会との連携による母国企業への就職活動

例えば、福井大学留学生同窓会上海支部会員は100名ほどであるが、内20名以上が会社経営者である。従来より同窓会と連携した就職支援を企画していたが、今年度は本学卒業留学生が社長をしている江守商事（中国）貿易有限公司に工学研究科機械工学専攻の学生1名を就職させることができた。

本人の希望を聞き、上海支部会員社長5名に打診したところ、3名から採用したいという話があったが、江守商事社長は即刻福井まで出張面接に来てくれて、内定した。

尚、今年度は9名が母国の日系企業に就職した。

#### ⑦ 就職支援室との連携

本学では就職支援室が全学の就職支援活動を展開しているが、留学生関係の求人情報、就職フェア情報などは随時就職支援室から情報提供を受けている。また、就職支援室からの要請で、日本国内外の就職先を問わず、全留学生の就職先の確認作業を毎年実施している。

#### ⑧ 就職支援における課題

- i 就職支援の最大のポイントは求人会社の確保である。平成13年度、14年度、18年度と過去3回「県内企業と留学生の懇談会」を開催したが、平成19年度より、本学留学生センターラウンジでの個別会社採用説明会に力点を移している。その呼び込みを更に推進する必要がある。
- ii 本学就職支援室との連携をさらに推進する必要がある。
- iii 県内企業採用担当者のメーリングリストの拡充が必要である。
- iv 就職後熱意をもって仕事を継続できるように、働くことの意義、動機付け教育を推進することも課題である。
- v 各国同窓会支部網を通しての母国企業への就職支援も強化する必要がある。

### 6) 日本人学生の海外留学支援

#### ① 人員体制

日本人学生の海外留学を支援する専任教職員は現在配置されていないが、日本語・日本事情教育部門の教員1名が担当し、平成15年10月以降その業務を行っている。

#### ② 相談状況

平成23年度の相談件数は6件。すべて工学部からであった。相談内容は、英語圏への語学留学、留学先との単位互換などであった。学生サービス課への相談は35件あった。交流相談担当教員への留学相談は教育地域科学部生1名。オーストラリア留学の希望であった。

### ③ 情報提供

#### i 学外からの海外留学案内ポスターの掲示及び海外留学案内パンフレット等の配布

国内外の各種団体から海外留学案内ポスターやパンフレット等が送付されてくるので、随時、留学生センターロビーの掲示板に貼ったり、書架に展示したりしている。また、部数に余裕があるときは、学生が自由に持ち帰れるようにしている。

#### ii 海外留学説明会等の実施

海外留学を希望する学生への説明会を毎年実施している。平成23年度の説明会は次のとおり。

##### 第1回

説明会名	平成23年度海外留学説明会「留学カフェ」
日時	平成23年4月26日(火) 11:00~14:00
場所	大学会館1階 共同談話室
担当	海外留学支援担当教員、相談交流担当教員、学生サービス課職員
対象	本学学生で海外留学または海外経験に興味を持つ学生
参加学生数	70名
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・海外留学を計画するにあたって</li><li>・留学生による出身地域等の紹介</li><li>・交換留学制度、各種海外研修の案内</li><li>・先輩の体験紹介、海外留学の魅力についての紹介</li><li>・留学体験パネル展示</li><li>・学生サービス課職員及び教員による留学相談</li></ul>

### ④ 海外留学状況

#### i 交換留学による海外留学者数

平成23年5月現在、本学には留学生が236名在籍しているが、その在籍者数は減少傾向にある。本学の理念である、「地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成」、特に国際社会に貢献し得る人材の育成のためには、日本人学生の海外留学の推進が引き続き重要である。

#### ii 協定校が開催する短期研修プログラムへの派遣

短期語学研修は、本学各学部が主導するプロジェクトとして毎年実施されているが、センターにおいても、平成18年度より、本学が学術交流協定を締結している韓国の東亜大学の夏季短期研修プログラム「KOREAN SUMMER SESSION」に毎年学生を派遣することになっている。平成23年度は下記のとおり実施した。

研修先機関名：東亜大学校（韓国）

- 派遣学生：7名（教育地域科学部1名、工学研究科4名、工学部2名）  
 期 間：平成23年8月8日～8月19日（約2週間）  
 目 的：韓国語初級コースと韓国の政治・経済、社会、文化などに関する特別講義等により構成された、日本人学生向けのプログラムで、韓国社会についての全般的な理解を深める機会を提供することを目的とする。  
 備 考：プログラム参加費、宿泊費等は無料。

⑤ 日本人学生の海外留学支援における課題

平成23年4月に語学センターが開設された。語学センターは英語教育を中心とした語学教育が主な業務である。語学センターとも連携して、日本人学生の海外留学支援に取り組むたいが、まだまだ発足したばかりなので、体制が整うまでは、留学生センターも従来どおり、支援体制を維持していきたい。

3 学内交流活動

留学生相互の交流、日本人学生との交流のために、学内交流活動を推進している。その目的は人間関係のネットワークを通して、①留学生の精神的な安定を図ること ②相互扶助の関係を構築すること ③留学生および日本人学生の国際性の涵養を図ることなどである。

尚、学内交流活動は福井大学留学生会が中心となり、大学生協学生組織 SOSEN 部などと協力しながら実施している。

表8 平成23年度学内交流活動実績

	月 日	活 動 報 告	人数
1	4月3日	第118回スポーツ大会（第57回サッカー 第28回バスケット 第42回バドミントン）	35
2	4月14日	International Friendship Party	27
3	4月15日	外国人留学生オリエンテーション	50
4	4月17日	第119回スポーツ大会（第58回サッカー 第29回バスケット 第43回バドミントン）	39
5	4月20日	Welcome Party	38
6	4月21日	第112回国際交流ラウンジ「新学期の抱負」	12
7	4月28日	第120回スポーツ大会（第30回バスケット 第74回バレー）	28
8	4月25日	第109回ビデオショー「コーラス」"Les Choristes"	4
9	5月1日	第121回スポーツ大会（第59回サッカー 第31回バスケット 第44回バドミントン）	33
10	5月8日	第122回スポーツ大会（第32回バスケット 第75回バレー）	41

相談・交流部門

	月 日	活 動 報 告	人数
11	5月9日	福井大学留学生会事務局会議	9
12	5月12日	第110回ビデオショー「ラブ☆コン」	10
13	5月19日	第113回国際交流ラウンジ「World Culture Presentation」韓国、ドイツ、インドネシア	35
14	5月23日	第10回国際交流キャンプ実行委員会	7
15	5月26日	第111回ビデオショー「パリより愛をこめて」	4
16	5月27-29日	大学祭（中国、マレーシア、ベトナム出店）	50
17	6月2日	第114回国際交流ラウンジ「大学祭」	12
18	6月3日	就職説明会	9
19	6月9日	第112回ビデオショー「アメリカ」	7
20	6月11日	第2回留学生会ボーリング大会	24
21	6月12日	第123回スポーツ大会（第33回バスケット 第76回バレー 第45回バドミントン 第6回ピンポン）	42
22	6月16日	第115回国際交流ラウンジ「気候」	12
23	6月19日	第124回スポーツ大会（第60回サッカー 第34回バスケット 第46回バドミントン）	18
24	6月23日	第113回ビデオショー「僕の彼女はサイボーグ」	5
25	6月26日	第125回スポーツ大会（第35回バスケット 第77回バレー 第47回バドミントン 第7回ピンポン）	32
26	6月30日	第116回国際交流ラウンジ「食べ物」	7
27	7月3日	第126回スポーツ大会（第61回サッカー 第36回バスケット 第78回バレー）	9
28	7月7日	第117回国際交流ラウンジ「七夕」	10
29	7月10日	荒島岳登山	12
30	7月14日	第114回ビデオショー「アメリ」（フランス映画）	5
31	7月18日	第127回スポーツ大会（第37回バスケット 第48回バドミントン）	29
32	7月21日	第118回国際交流ラウンジ「World Culture Presentation Day」中国、ベトナム、タイ	12
33	7月24日	第128回スポーツ大会（第38回バスケット 第79回バレー 第49回バドミントン 第8回ピンポン）	27
34	7月28日	第115回ビデオショー「借りぐらしのアリエッティ」	5
35	7月31日	第129回スポーツ大会（第39回バスケット 第80回バレー 第50回バドミントン 第9回ピンポン）	30
36	8月5日	前期さよならパーティ	21
37	8月8日	第2回AED講習会	27

福井大学留学生センター紀要第8号

	月 日	活 動 報 告	人数
38	8月11、12日	第10回国際交流キャンプ	40
39	10月10日	第130回スポーツ大会（第40回バスケット 第81回バレー）	15
40	10月13日	第116回ビデオショー「A walk to remember」	5
41	10月14日	後期留学生オリエンテーション	100
42	10月16日	第131回スポーツ大会（第62回サッカー 第51回バドミントン 第82回バレー）	31
43	10月21日	後期歓迎会	20
44	10月23日	第132回スポーツ大会（第41回バスケット 第83回バレー）	29
45	10月24日	福井大学留学生会事務局会議	8
46	10月27日	第117回ビデオショー「オペラ座の怪人」	7
47	10月30日	第133回スポーツ大会（第42回バスケット 第84回バレー）	18
48	11月3日	第134回スポーツ大会（第63回サッカー 第52回バドミントン 第43回バスケット）	28
49	11月10日	第118回ビデオショー「Confessions」	5
50	11月13日	第135回スポーツ大会（第44回バスケット 第85回バレー）	33
51	12月8日	第119回ビデオショー「スーパーエイト」	4
52	12月11日	第136回スポーツ大会（第45回バスケット 第86回バレー）	21
53	12月18日	第137回スポーツ大会（第64回サッカー 第53回バドミントン 第87回バレー）	26
54	2月19日	第138回スポーツ大会（第65回サッカー 第54回バドミントン 第88回バレー）	27
55	1月12日	第120回ビデオショー「ショーシャンクの空に」	6
56	1月26日	第122回ビデオショー「2012」	7
57	2月14、15日	第8回1泊2日スキー旅行	31
58	2月22日	第9回日帰りスキー旅行	33
59	3月1日	さよならパーティ	23
60	3月4日	第139回スポーツ大会（第66回サッカー 第55回バドミントン 第46回バスケット）	19
61	3月6日	留学生と教職員の交流会	100
62	3月11日	第140回スポーツ大会（第47回バスケット 第89回バレー）	25

1) 定期交流活動

平成13年度より毎週第一、第三、及び第五木曜日には国際交流ラウンジを、また、第二、



第四木曜日にはビデオショーを実施してきた。

国際交流ラウンジについては、福井大学語学センター発足に伴い、語学センターより国際交流ラウンジをその活動の柱の一つにしたいという要請があり、平成23年度後期よりその活動を語学センターに移管した。ただ、その活動案内配信については、留学生センター相談・交流担当教員が引き続き行っている。

## ① 国際交流ラウンジ

案内文（和文例：実際には和英併記でメール配信する）

留学生及び日本人学生の皆さん

下記の通りお話し会「第117回国際交流ラウンジ」を行います。  
ぜひ お誘い合わせの上、ご参加ください。

日時	7月7日（木曜日）18：15-19：15 （毎月第一、第三及び第五木曜日18：15-19：15開催）
場所	留学生センター ラウンジ
参加者	留学生及び日本人学生
内容	前半30分英語、後半30分は日本語によるグループ自由会話 （飲み物、お菓子付）
話題	『七夕』
参加費	無料
主催	福井大学留学生会 福井大学生協SOSEN部

## ② ビデオショー

案内文（和文例：実際には和英併記でメール配信する）

留学生、及び日本人学生の皆さん、

下記のとおり、第120回ビデオショーをします。  
お誘い合わせのうえ、おいでください。

日時	2012年1月12日（木曜日）	18：15-20：30
題名	第120回ビデオショー「ショーシャンクの空に」 （本編英語、日本語字幕付き）	
場所	留学生センターラウンジ	
料金	無料（コーヒー、お菓子付き）	

Abdul Rahman,  
Secreratry,  
University of Fukui International Student Association (UFISA)

## 2) その他学内活動

その他の主な活動としては、福井大学留学生会主催による、国際交流サマーキャンプ（1泊2日、越前海岸での水泳、国見岳でのキャンプ。毎年40名程参加）、及び2回の国際交流スキー旅行（1泊2日31名、日帰り33名）がある。両行事とも参加費3,500円であるが、申込み開始初日数分で定員オーバーとなる人気行事である。その他に、サッカー、バレーボール、バスケットボール、ボーリングなどのスポーツ大会、歓送迎会、忘年会などを実施している。特に平成20年度から福井大学留学生事務局の種目別スポーツ委員会が編成され、毎週日曜日午後15:00-19:00に本学体育館を予約して、スポーツ種目の月間予定表に従って実施しているが、毎回30名前後が参加している。

## 3) 福井大学留学生会

### ① 設立背景と事務局構成

平成15年11月に福井大学留学生同窓会が発足したが、それを機に、その同窓会事務局の提案により、福井大学留学生会が平成16年4月に発足した。その目的は、留学生相互の交流と相互扶助、日本人学生および地域社会との交流である。福井大学留学生会の会長は福井大学中国人留学生学友会長が務めることになっているが、毎学期開始時に、各種行事毎の実行委員会が編成され、実行委員会を中心に行事を企画運営している。

### ② 福井大学留学生会の活動

福井大学生協学生組織 SOSEN 部などと協力しながら、「国際交流ラウンジ」、「ビデオショウ」、歓送迎会、国際交流キャンプ、国際交流スキー旅行、各種スポーツ大会などを実施している。また、地域社会との交流活動としては、県内国際交流団体が主催する行事に積極的に参加している。また、地震・津波など災害救援のための募金活動なども行っている。

## 4) 学内交流活動の課題

- ① 相談交流担当教員は日本人学生との授業等を通じた接点がないので、e-mail 網等の構築が難しい。現在は、各種活動に参加する日本人学生から個別に情報を収集しネットワークを構築している。
- ② 留学生の大半は私費留学生であり、生計維持のためにアルバイトをしなければならず、実験やレポートなど課題が多く、時間が取れないため、参加したくても参加できない学生が多い。
- ③ 他方、留学生個々人が様々な活動に参加できないと、相談交流担当者との接触が薄くなり、徐々に顔が見えなくなる。そして、ある日突然大きな問題を抱えて相談に来ることになる。
- ④ 従って、各種交流活動に参加しなくても、常に、目の届くような体制構築が課題である。
- ⑤ 学内外の交流活動に参加するあまり研究が疎かにならないかと懸念する指導教員もいるのでそれも考慮する必要がある。

## 4 地域社会との相互支援交流活動

### 1) 小学校等への一日講師派遣

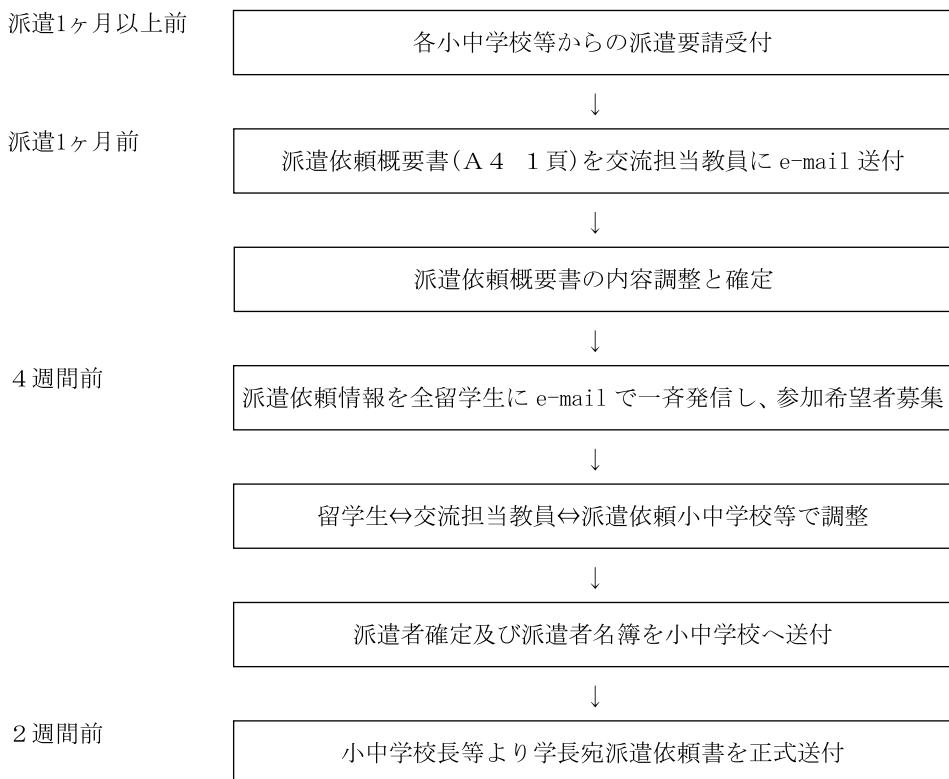
地域社会は温かく留学生を迎え、受入れ、支援してくれている。留学生も地域の国際化のために、何かをし、喜んでもらう。その満足感、達成感、充実感こそが自己の存在意義、社会貢献の証しとして懐かしい思い出となる。ギブ&テイクのベクトルは常に双方向の満足感を伴うが、ギブによる思い出こそが知日派、親日派を育てると認識している。その認識から、小中学校の総合学習、企業への通訳・語学講師派遣など、地域社会の国際化支援活動を展開している。

留学生センターとしての留学生派遣状況は平成14年度(25件)から全て記録してあるが、平成23年度の派遣実績は54件となっている。

尚、これらの件数はあくまでも、相談・交流担当教員が直接介在して派遣したもので、地域社会と関係が重層的に構築される中で、留学生センターを通さず、留学生が直接、地域各交流協会の語学講座講師や文化教室講師、また公民館や幼稚園の活動等に参加している例も多い。

派遣の流れと、派遣実績は表9及び表10の通りである。

表9 留学生派遣の流れ





学生サービス課派遣稟議起案・決済→ 結果を当該指導教員に連絡



実施日

留学生派遣

表10 平成23年度の留学生派遣実績

	月 日	派 遣 項 目	人数
1	4月15日～ 9月30日	FBCラジオ「あべちゃん探訪」～やっぱりお米はおいしいね～ 出演 全25回 毎週金曜日14:25～14:30 生放送	25
2	5月7日	鯖江市国際交流協会「中国語講座」講師 毎週土曜日 3か月	1
3	5月23日	インターナショナルさかいミャンマー留学予定者への情報提供	1
4	5月26日	エフティアパレル社英文ホームページ ネイティブチェック	1
5	5月28日	インターナショナルさかい 月例会「ベトナム民族舞踊」	1
6	5月31日	附属中学校 Talking with students about English and Asia	3
7	6月5日	第1回みどりと花の県民運動大会 緑のメッセージ（留学生）宣言	15
8	6月10日	附属中学校 Talking with students about English and Asia	5
9	6月19日	インターナショナルさかい「外国人のための無料水泳教室」	1
10	6月24日	足羽高校「国際交流会」	30
11	6月26日	ふくい市民国際交流協会 ふくい発見ツアー 「災害弱者にならないために 防災訓練に参加しよう！」	1
12	7月1日	Lecture by Fukui Police	15
13	7月2日	社南小学校「International Festival」	11
14	7月9日	啓蒙小学校「Keimo International Day」	20
15	7月9日	「留学生のホームビジット」福井国際交流協会	14
16	7月15日	ふくい市民国際交流協会 ふくい発見ツアー「助かる命を助けるために！」	1
17	7月22日	SOSEN部「留学生応援かき氷」	2
18	8月6日	福井県国際交流協会「浴衣で養浩館庭園を歩こう！」	7
19	8月6日	ふくい市民国際交流協会 ふくい発見ツアー 「一年に一度のチャンス！韓国のジュニア大使とYOSAKOIを踊ろう！」	1
20	8月7日	インターナショナルさかい「三国湊町散策ガイドの中国語翻訳版作成」	4
21	8月9-11日	福井県教育委員会「高校生英語キャンプ」福井市少年自然の家	2
22	8月10-12日	福井県教育委員会「高校生英語キャンプ」三方青年の家	4

相談・交流部門

	月 日	派 遣 項 目	人数
23	8月17-19日	福井県教育委員会「高校生英語キャンプ」奥越高原青少年自然の家	5
24	8月21日	インターナショナルさかい「三国湊町散策ガイドの中国語翻訳版作成」	4
25	8月28日	インターナショナルさかい「三国湊町散策ガイドの中国語翻訳版作成」	3
26	9月11日	インターナショナルさかい「三国湊町散策ガイドの中国語翻訳版作成」	3
27	9月16日～	電話による中国語会話教育	1
28	10月1日	F I A 嶺南センター「おしゃべりサロン」	1
29	10月11日～	福井県A A L A 韓国語講座（月2回）	1
30	10月22日	ふくい市民国際交流協会「多文化共生セミナー」パネリスト	1
31	10月22日	越前市協働たねまる提案補助事業『多言語マップを作ろう！』（第1回）	6
32	10月22日～ 1月16日	越前市協働たねまる提案補助事業『多言語マップを作ろう！』（全5回）	7
33	10月23日	福井県農林水産部 森づくり課「林道マラソン&ウォークin福井市」	10
34	10月30日	全日本きもの装いコンテスト（装道礼法きもの学院 4月13日より月2回練習）	4
35	11月6日	ふくい市民国際交流協会『福井発見ツアー ～安全に暮らすために～』	5
36	11月17日～ 12月7日	パナソニック武生 技術研修生通訳	1
37	11月18日	福井県立武生高校 Exchange Event at Takefu High School	18
38	11月20日	インターナショナルさかい「外国人による日本語スピーチコンテスト」	6
39	11月22日	勝山市立北郷小学校英語集会講師	1
40	11月22日	福井市日新小学校「英語活動」	10
41	11月24日	麻生津小学校1年男児保護者 ビサヤ語通訳	1
42	11月26日	ふくい市民国際交流協会多文化共生セミナー	1
43	11月29-30日	懶春うらかな書房 Indonesia Book Fair 通訳	1
44	11月30日	社北小学校 ハローワールド	2
45	12月1日	越前イングリッシュセンター 英語講師	1
46	12月1日	灯明寺中学校 英語集会（イスラム文化）	1
47	12月9日	上海化学工学会と共同のシンポジウム参加者観光案内	1
48	12月9日	ふくい市民国際交流協会 ベトナム文化紹介講座 昭和幼稚園	1
49	12月14日	福井市日新小学校「国際理解」	10
50	1月29日	日中友好協会福井支部新春の集い	50

	月 日	派 遣 項 目	人数
51	2月3日	ふくい市民国際交流協会ベトナム文化紹介講座 小稲津町集落センター	1
52	2月5日	福井市日本中国友好協会 春節の集い	50
53	2月10日	ふくい市民国際交流協会ベトナム文化紹介講座 ふれあい会館	1
54	2月16日	坂井市立春江西小学校ハローワールド	1
55	2月17日	ふくい市民国際交流協会ベトナム文化紹介講座 足羽団地公民館 天王町集落センター	1

## 2) 福井県等官界とのネットワークと交流活動

福井県、特に産業労働部国際・マーケット戦略課、福井県国際交流協会、同嶺南センター、各市町村の国際交流協会との交流活動を随時実施している。

### ① 福井県との連携活動

#### i 「スプリングプログラム in 上海」を共同事業として実施

本プログラムは本学日本人学生の国際性涵養をはかるため、大学院入学前導入教育として、平成20年度に開始し、本年度も第4回「スプリングプログラム in 上海」を実施した。2週目は相談・交流担当教員が企画・運営を担当し、全期間上海に出張し調整に当たった。本講座の履修科目は「工学研究科共通科目」として単位認定される。今後も毎年継続実施する予定である。

(平成23年度の例)

講座開設期間	平成24年3月6日(日)から20日(日)まで2週間
講座開設場所	上海理工大学(中国、上海市)、宿泊先も同大学ゲストハウス
参加者	27名(工学部4年16名、工学研究科博士前期課程1年1名、2年3名、 博士後期課程1年1名、博士前期課程入学予定前交換留学生6名)
内容	1週目 「中国語・中国文化」「工学関係の講義」 2週目 「海外企業経営・技術論」及び「海外インターンシップ」
講師	1週目 上海理工大学講師 2週目 福井県上海事務所長、現地進出福井県企業経営者 及び福井大学留学生同窓会上海支部会員(会社経営者)
共同事業者	福井大学、上海理工大学、福井県、福井大学留学生同窓会上海支部、
県側連携部署	福井県観光営業部国際・マーケット戦略課、及び福井県上海事務所

### ② 福井県国際交流協会及び JICA 北陸支部との連携

#### i 平成23年度国際理解教育出張講座「ハローワールド」事業への協力

福井大学留学生センターは福井県国際交流協会及び JICA 北陸支部が実施する「ハローワールド」事業が発足した平成15年より事業協力機関として、同事業実施対象小学校

に留学生を講師として派遣している。平成23年度は「ハローワールド」実施対象8校（小学校6校、中学校2校）の内、小学校2校、中学校1校に留学生を派遣した。尚、本事業開始時より相談・交流担当教員が選考委員として協力している。

### 3) 商工会議所等産業界とのネットワークと交流活動

社会・経済のグローバル化が進む中で、地域経済界が生き延びる、更に発展するためには、各企業の国際化は喫緊の課題である。そして、その柱となるのが、国際戦略を担う人材確保である。

他方、留学生も卒業後、実務経験を身につけたい、更には、人生設計を日本の産業界に求めたいという学生が増えている。日本社会が抱える少子化、そして、世界的な人的移動と人材確保競争の中で、留学生センターとしては、地域国際化支援の核として、地域産業界への人材供給と留学生の就職支援を目的に、平成13年、14年、18年に「県内企業と留学生の交流会」を実施した。その結果、留学生の国内就職者は、平成13年度8名（県内4名）以降、14年度6名（同2名）、15年度16名（同9名）、16年度23名（同9名）、17年度9名（同4名）、18年度は26名（同7名）、そして、19年度は30名（同11名）と着実に増加していたが、それ以降は、20年度は19名（同8名）、平成21年度15名（同6名）と減少した。平成22年度は21名（同7名）、平成23年度20名（同10名）とやや持ち直したが、今後も商工会議所、JETRO 等と連携しながら、留学生の国内就職、特に県内企業への就職を推進していきたい。

### 4) 地域国際交流ネットワーク構築及びネットワーク誌「こころねっと」

卒業留学生、在学留学生、教職員、日本人学生、地域産官学民各界とのネットワーク構築のために留学生センターネットワーク誌「こころねっと」を平成13年秋号以降毎年発行している。平成23年度も第12号2,500部を発行した。「こころねっと」の概要は下記の通り。

表11 「こころねっと」概要

発行部数	2,500部
体裁	A5版、46ページ、カラー印刷
配布先	卒業留学生、在学留学生、本学教職員学生、地域国際交流機関・個人、県下全小中高校、各大学留学生センター、他
編集	在学留学生中心の編集委員会（約10名）
内容	在学・卒業留学生投稿記事2/3、センター行事等1/3が目安。行事感想、生活・旅行・映画・読書等体験、各国文化・社会紹介、各国挨拶紹介、各国料理紹介、帰国留学生からのメッセージ

## 5) 福井大学留学生同窓会活動

### ① 福井大学留学生同窓会設立の背景

昭和45年に福井大学第1号留学生 Lim Kim Teck 氏が工学部繊維染料学科に入学して以来、約1,500名の留学生在福井大学で学び、約1,000名が帰国し、約170名が卒業後日本国内に就職して勤務中である。平成13年秋のネットワーク誌「こころねっと」創刊に当たり、帰国留学生全員の住所ラベルを作成し、冊子を送付した。その中に、「福井大学留学生同窓会登録用紙」を同封したところ、多数の返信があった。そこが設立の出発点である。

### ② 福井大学留学生同窓会設立

文部科学省より特別配分予算を受け、平成15年11月30日に「第1回福井大学留学生同窓会大会」を開催。招聘した帰国留学生13名及び在学留学生計91名が参加し、同窓会設立宣言文を採択した。そして、劉丁会長以下事務局を選任した。

### ③ 支部設立の動き

平成16年12月マレーシアのクアラルンプールで「福井大学留学同窓会マレーシア支部設立大会」が開催され、支部設立宣言文の採択と事務局選出が行なわれた。その後、タイ、インドネシア、韓国、西安、上海、杭州、台湾、北京、ハンブルク支部が設立され、平成20年11月に日本国内支部、そして、平成21年12月にバングラデシュ支部、平成23年12月にはミャンマー支部が設立された。現在13支部が活動を展開している。

### ④ 同窓会の活動

同窓会の活動としては、①支部会員相互の情報交換、交流や連携活動 ②他国支部との情報交換、交流や連携活動 ③福井大学を含む福井県産官学民との交流 ④各国と日本の経済・文化交流などがある。

### ⑤ 「スプリングプログラム in 上海」

4-2)-①で記載したとおり、23年度も第4回「スプリングプログラム in 上海」を実施した。今後も継続実施の予定である。このプログラムは上海理工大学、留学生同窓会上海支部、福井県（特にその上海事務所）、及び現地進出福井県企業、4者の共同事業であり同窓会活動のモデル事業と位置付けている。受講科目は工学研究科博士前期課程入学後、履修科目として単位認定される。また、本プログラムの最終日には関係者への感謝を込めて、上海理工大学の食堂で交流会を実施しているが、福井大学留学生同窓会上海支部会員も毎年15名ぐらいが合流している。

### ⑥ 「浙江理工大学サマープログラム」

中国語学習のための「浙江理工大学サマープログラム」（3週間）を下記のとおり実施し



たが、本プログラムでは杭州支部及び上海支部会員が講師として支援、県内企業の浙江工場も見学させていただいた。

講座開設期間	平成23年9月5日(月)から26日(月)まで3週間
講座開設場所	浙江理工大学(中国、杭州市)、宿泊先も同大学ゲストハウス
参加者	16名(教育地域科学部2年7名、3年5名、4年2名、工学部2年1名 工学研究科博士前期課程2年1名)
内容	午前:中国語 午後:中国事情、中国文化体験、国際企業比較論、現地企業見学
講師	浙江理工大学講師及び福井大学留学生同窓会杭州支部及び上海支部会員 杭州支部会員は国際企業比較論、現地企業見学を担当した。
共同事業者	福井大学、浙江理工大学、福井大学留学生同窓会杭州支部、福井県企業

#### ⑦ 独立行政法人日本学生支援機構主催「平成23年度留学生交流実務担当教職員養成プログラム」で講演

本学の同窓会を中心とした帰国留学生ネットワークが高く評価され、雑誌への投稿、講演を依頼されることが多いが、今年度は下記のとおり東京と大阪で講演した。

日時	大阪:平成24年3月2日(金) 13:30~17:00 東京:平成24年3月5日(月) 13:30~17:00
場所	大阪:チサンホテル新大阪 東京:東京ガーデンパレス
演題	「帰国留学生ネットワーク構築」について ～ 構築、フォローから相互交流、そして共同事業展開へ～ (14:25~15:15)
参加者数	大阪65名、東京91名
講演者	中島 清(福井大学留学生センター教授)

#### 6) 福井県留学生交流推進協議会

県内産官学民の計30団体機関が会員となり、「福井県における留学生の円滑な受入れの促進及び留学生と地域住民との交流活動を推進する」ことを目的として活動しているが、留学生センターからは、センター長及び相談交流担当教員がその運営委員会委員として参画している。また、福井大学学生サービス課がその事務局となっている。

その主な活動としては、「留学生救済援助金」による国民健康保険料助成、情報交換などである。また、毎年、「福井県留学生だより」を学生サービス課が編集し、発行している。センターの諸活動についてもそこに掲載し地域に発信している。

#### 7) 課題

- ① 地域社会相互支援活動と教育・研究活動のバランス

留学生の本分は学習・研究等であるため、交流活動によってそれが阻害されてはならない。交流活動に熱中し過ぎて研究論文作成が疎かになっているという苦情を時折指導教員よりいただく。その意味で、募集においてはあくまで学生個々に直接依頼せず、一斉メールで募集し、派遣稟議決済後その写しを指導教員に回付することになっている。

又、留学生は遠方の派遣先に自転車で向かうことが多いことから、事故等に備えて派遣先に一日傷害保険をかけるよう依頼徹底している。

実験などに追われる留学生は交流活動に参加する余裕がなく、小学校等からの要請に沿う留学生を確保するのはなかなか難しい。従って、余り積極的な派遣活動を展開することは出来ず、そのバランスが大切である。

## ② 同窓会各国支部網の活用

同窓会各国支部網、ネットワーク誌「こころねっと」を通したネットワーク、帰国及び在日卒業生の住所や e-mail アドレス網は本学、及び地域社会の国際化戦略における重要なインフラと考えている。小規模大学が海外事務所を持つことは難しいが、同窓会支部には本学の海外支部としての役割を期待し、それを既にお願している。

## ③ 今後の活動方向

- ・ 同窓会及び在学生在が連携して、地域社会の国際化に貢献できるような活動の模索が必要である。

上海支部及び西安支部が編成し来訪したミッション型交流もそのプロトタイプであると言えるが、ミッション型交流をいかに継続実施できるかも課題である。

- ・ 本学教員が各国支部と協力して、現地で産官学民の参加者を集めて、シンポジウムや講演会を実施し、その中から国際共同研究のシーズを発掘し、更にそれに県内企業を巻き込む活動も望まれる。
- ・ 同窓会支部網の活性化と、活動内容に関する情報交換のために、福井大学同窓会世界大会の開催も望まれるが、その予算確保も課題である。

## 5 外部への情報発信活動

### 1) 主な発信媒体

留学生センターの情報発信媒体としては、「留学生センターホームページ <http://ryugaku.isc.u-fukui.ac.jp/>」がその中心的な役割を果たしている。その他の発信媒体としては、「福井大学留学生センター紀要」「センターニュース」、ネットワーク誌「こころねっと」、などがある。

### 2) ネットワーク構築を支える情報登録・管理

学内及び地域、そして国際的なネットワークを構築して活動を展開しているが、その基盤となるのが、住所及びメールアドレスの登録と管理である。

登録状況は下記のとおりである。

ネットワーク誌「こころねっと」発送等のための登録住所概数（ラベル打出用）

帰国及び在日卒業留学生	1,100件
県内小中高、企業、機関等	700件

情報発信、交流促進のためのメールアドレス概数（携帯等重複）

帰国留学生	750件
在日留学生	150件
在学留学生（携帯等重複）	250件
その他	500件